

ダイナミックなフォームから魔球が



左腕天野投手の投球(ソフトボール教室)



第614号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (4月1日現在)
 男女 3,419人
 3,535人
 総人口 6,954人
 世帯数 2,027戸

見たことのない球を軽々と投げ

四季大学春季講座ソフトボール教室

とよおか四季大学春季講座のソフトボール教室が、三月二十五日に村民クラブで開催されました。常任講師の丸山克俊先生に加え、わが国ソフトボール界を代表するピッチャー、西村信紀氏と天野充敏氏が来村され、受講者に密度の濃い指導をしていただきました。

凄さを痛感

48オールスターズ

吉川 剛

先月、村民クラブで行われた丸山先生のピッチング講習会に出席させて頂きました。今回、西村投手、天野投手という、世界で活躍してきたソフトボール界のカリスマ的存在の二人が来られるということで、講習日前からとても楽しみにしてきました。

当日の朝は雪が舞い、とても冷え込む中でしたが、講師の方々は快く講習を引き受けて下さいました。両投手のピッチングを実際に拝見し、世界で活躍してきたレベルの高さ、凄さを痛感しました。

西村投手のライズボール、ファストボール、チェンジアップ。天野投手のライズボール、ファストボール、ドロップスライダー。二人は五割以下の力で投げているにもかかわらず、見たこともない球を軽々と

投げました。私は講習会前にネットなどでピッチング映像は見てきたのですが、実際のピッチングは想像以上での感動は忘れられません。丸山先生にはピッチングの他にも普段の練習時での心構えや、練習方法、試合の運び方など、チームが強くなる考え方も教えて頂きました。

私は二つのチームに所属してまして、ナイターソフトボールではオール南の連覇、一般では48オールスターズの全国大会出場を目標に練習(慰労会を含む)に励んでいます。今回の講習会はとても勉強になり、チームが勝つために、「自分やチームは何が出来るのか、何をしなければいけないか」ということを目標に達成するため、さらに強いチームへの階段を一段一段上っていきたくと思いました。

ばい、笑顔いっぱい、友だちといっぱいといっぱい。塩澤孝雄と申します。前任校は、上伊那郡中川東小学校です。全校児童数は、南小学校の三分の一であり、当校へ来て子どもの多さに驚きました。

村岡三校長に 新しい校長先生

人を大切に

豊丘中学校長

丸山 貢弘



四月より、伝統ある豊丘中学校に勤務させて頂いたことになりました丸山貢弘と申します。前任校は、下諏訪向陽高校です。私は

お隣の番木村で生まれ育ちました。以前、飯田教事務務の際には、毎年豊丘村の学習会に参加させて頂いた大きなお世話になりました。私は生徒たちに、「人を大切に人にする人」になつて欲しいと願っています。また学校教育目標のもと、本校の三本の柱、「挨拶・豊丘清掃・歌声」を大切に、生徒・教職員一丸となつて新たな創造に向け取り組んで参りたいと思ひます。ご支援をよろしくお願い致します。



思い出の地で再び

豊丘北小学校長

松澤郷子

四月より豊丘北小学校にお世話になっております。私は三十年ほど前、豊丘北小学校で三年間勤務してました。赴任が決まった時は懐かしさと、再び校長として勤めさせて頂いたことに何よりの幸せを思いました。

本年度全校九十名で出発しました。どの学年も挨拶の音が明るく、廊下で出会う穏やかな表情、校庭で学年を越えて遊ぶ様子に、心身共に健全に育てられてきた豊丘教育のすばらしさを感じています。今後も地域の皆様と手を携えて豊丘北小学校の教育に力を尽くしたいと思っております。

ばい、笑顔いっぱい、友だちといっぱいといっぱい。塩澤孝雄と申します。前任校は、上伊那郡中川東小学校です。全校児童数は、南小学校の三分の一であり、当校へ来て子どもの多さに驚きました。



剛速球がうなりをあげてー右腕西村投手の投球

段丘

◆選抜高校野球大会が過日憧れの甲子園球場で行われ、高校球児らしい夢のある試合が展開されました。三月二十一日の開会式では、石巻工高の阿部翔人主将が堂々とした選手宣誓をし、力強い震災復興への宣言となりました。石巻工高は、震災で大きな被害を受けた岩手・宮城・福島三県の代表です。震災で家族や友人を亡くした方々を思い、最後まであきらめない試合をする事によって、感動や勇気や笑顔の人々に与えたいと述べた宣誓には、多くの人が心を打たれました。また、長野県の地球環境高は、全国で初めて甲子園に出場した通信制の高校であり、出場するまでには別の苦労があったようです。部員全員がそろって練習できず、時にはたった二、三名で練習したこともあったようです。しかし、甲子園での本番では、はつらつと戦い、悔いのない良い思い出を残してくれました。

信仰対象として 十王像が文化財に

北市場の厚い信仰心が村に評価される

田村区北市場一自治会の「十王像」が、この度教育委員会より、村の文化財に指定されました。指定の理由は、この十王像が地域住民の厚い信仰心の対象となり、欠くことのできない精神的な拠り所になっているからとのこととあります。

十王像の文化財への指定を答申した文化財調査委員会の原委員長と、地域住民の福沢さんに、記事を送らせていただきました。

文化財調査委員長
原 嘉彦

北市場一自治会から、十王像を村の文化財に指定してほしいという申請があった。像の造られた年代等はつきりせず、彫刻内容等から、像そのものは指定できないが、有形民俗文化財としては指定できることになった。今日まで地域の人の心の拠り所として保護保存し、紛失していた一体の頭を今回新調し、毎月第二日曜日を祈りの日とするなど、十王信仰

北市場
福沢 誠

の普及に努めるという信仰風習に価値を認めるもので、継承が期待できる。これを機に村各地区の文化財が捨てられることなく、継承保護されることを期待する。

十王像の修復事業に、北市場一自治会の皆さんが丸となって取り組み、無事完了したことは、大変良かったと思います。しかも、村の文化財への指定は本当に嬉しく、今後も地域の宝と

して未永く守っていきたいと思います。この事業に、当自治会以外から受けたご指導や激励は大変参考になりました。紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。ふり返ってみますと、昭和二十年代に、十王の中の平等王のお顔が紛失し、その後六十年の歳月が経っておりました。当時は会所に施錠をせず、管理もよくなかったためと思えます。しかし、平成六年には、会所も現在地に移動し、十王像ほか地蔵さん

も、新築会所に移りました。十王像を安置する戸棚の施設も万全になりました。平成二十年の年頭総会で、自治会長林氏から、お顔のない平等王の修復が提案され、採択されました。これは、この事業によって、自治会が一層結束するチャンスになり、また、費用はかかって、立派に揃った十王像を世に出してあげる良い機会にもなると判断したからです。早速修復の段取りをし、修理を奈良市にある元興寺文化財研究所にお願いたしました。費用は自治会で負担することに決まりました。そして、平成二十一年九月に修復が完成し、平等王は会所に戻りました。十月四日には、自治会員が大勢参加し、来賓をお招きして、開眼供養を盛大に行いました。このような経過を経て、この度の村の文化財指定となったわけです。

文化財に指定されれば、できる限り一般公開の必要が出てきます。そこで、毎月第二日曜日の午前中に公開します。自治会長さんにお申し込みください。

文化財に指定されれば、できる限り一般公開の必要が出てきます。そこで、毎月第二日曜日の午前中に公開します。自治会長さんにお申し込みください。

4月5日 新入生 村内三校で晴れやかに入学式 充実した中学時代に 豊丘中一年 大橋 遼太郎

僕は四月から中学生になりました。中学校は小学校と違うところがたくさんあります。例えば、教科書に先生が変わることや、僕達のことを「児童」ではなく「生徒」と呼ぶことです。つい一カ月前まで僕達が学校の最上級生として全校をひっぱっていたのに、また一からスタートなので不安もあります。でも、どちらかといえば楽しみの方が多いです。そんな中学校生活で僕が主にがんばりたいのは、勉強と部活と生徒会の活動です。

中学校では、先生の言うことを集中して聞いて、授業に真剣に取り組みたいです。家庭での勉強は、宿題をしっかりとやり、予習を真剣に取り組みたいです。十二ある委員会が協力して、生徒会の活動を創り上げていきます。僕は代議員に選ばれました。「目安箱」に出された質問や意見に答えていくことです。また具体的にはよく分からないので、上級生の言うことをしっかりと聞いて、がんばっていきたく思います。

南小 本格的な集団生活へ 北小 晴れやかに勢揃い

中学の三年間はあつという間に終わるとよく聞きます。様々なことに積極的に取り組んで、充実した中学校生活を送っていきたく思います。



文化財調査委員会による調査

史学会コーナー

郷土の遺産 シリーズ(29)

河野の井水 畑田井と竜東井

北垣外 富永博道

河野地籍の井水は主な物だけ上げても、畑田井と竜東井が在り、その支流・延長線上・独立的な井として名称をあげれば、十以上になるかも知れない。

先ず畑田井に触れてみる。畑田井の取入口は間沢川東より一キロ上流で、間沢林道に沿って西流し、滝川部落北側を廻り、その突端で南転し、椈平山・ホッキの

岩山の中腹を通り、東ヶ平北沢に出てヨキトギを経て北垣外平に出る。更に泉竜院下、市ノ沢・寺垣外、中仙道、羽根垣外を経て下耕地で上井尻と合し、河野北部の大半を潤す井水と村誌に書かれてあり、元禄元年に開墾されたと在る。

畑田井役員の方、実際に現地を見た方が分かるかと連れて行って下さったのは大変有難いと思つたが、現在の畑田井は迂回した井水ではなく、隧道が三ヶ所

も掘られ、沈砂池も水門も何ヶ所もあった。間沢から隧道で北洞線に出、明渠の部分などは中がメートル以上あり七十歳余りの方の話に依ると、子供時分は水浴びやら小魚探りの水遊びをしたと聞く。時代の推移と共に子供の安全性を重んずることは当然といえるが、蜚や蜻蛉も棲めないコンクリートで固められた井水は、何となく寂然としない感もある。

井水の管理は自治会より

一人宛の係りがおり、雨や濁水期の調節を行っているが、これも仲々大変な手間がかかるそうだ。

また井水にはそれぞれ井林が在り、畑田井にも相当広い山が管理地として在る。竜東井は昭和二十八年に間夫井(河野新田)と竜東一貫水路(神福・喬木)が統合し竜東井となり、河野から伊久間までの約十km・三百四十haを灌漑している。と沿革史に書かれている。

二十八年から五十八年までに四度の災害や大洪水の被害を受け、その都度大変な苦勞をなされた様だが、延宝五年(一六七七年)の開田から間夫井として親しまれてきたのは、ただ単に田畑の用水路でなく、現在より二世代前までは野菜等

の洗い場として利用されたとの言い伝えもある。生活に直接関与する水路は、私のような非農家の人間はあまり関心を持たなかつた点を深く反省した。字数の関係で省略した部分が多く、申し訳なく思う。

上井・地蔵道井・西井・中平井・田中井など、その地域の人に直接聞きたい思いで一杯だが、それぞれに歴史が在り物語が有ると思う。現在農家が減ると聞くが小さな話も大切にしたい。



きちんと整備された北洞の沈砂池



北小 晴れやかに勢揃い



南小 本格的な集団生活へ

人生充実の一助に

平成24年度公民館事業概略

- 【文化系】
 - ◆公民館学習会 約九十名の若者が成人を迎えます。(一月三日)
 - ◆ふるさと探訪史跡めぐり 「我が村のいいところ」をめぐります。(二月三日)
 - ◆ふるさと見て歩き 「新九郎の滝」まだ「新九郎の滝」をご覧になっていない方、また行きたいという方、振るってご参加ください。(時期未定)
 - ◆親子セミナー 保育園児・小学生の親子向けセミナーです。親子でいろいろな体験をしましょう。(時期未定)
 - ◆文化事業
 - ◆文化祭・作品展 (時期未定)
 - ◆公民館グループの一年間の力作をどうぞご覧ください。(十一月四日～十一日)
 - ◆ステージ発表 歌、ダンス、舞踊、演奏等多彩な発表をお楽しみください。(十一月十・十一日)
 - ◆成人式
- 【体育系】
 - ◆県市町村対抗伝大会 (四月二十日/松本)
 - ◆村民ゴルフ大会 (六月/高森CC)
 - ◆公民館ゲートボール大会 (六月)
 - ◆夜間ソフトバレーボール大会 (七月～十月)
 - ◆分館対抗球技大会 (八月十五日)
 - ◆二十四時間 ソフトボール大会 (八月二十五日)
 - ◆だんく健康ウォーキング (十月八日)
 - ◆豊丘村伝大会 (十一月二十三日)
 - ◆冬季 レクリエーション大会 (二月十一日)
- 【その他事業】
 - ◆とよおか四季大学 ふるさと大使丸山克俊先生による、年四回のめったに受講できない講座です。詳細はその都度お知らせしていきます。

こちら資料館 ⑱

資料館を見学して(1)

三月六日に、南小の四年生全員が資料館を見学に来てくれました。短い時間で

【ぼくは石が好き】

今日の資料館の見学です。ご家族が三つありました。

一つ目は、中に入った時昔のものがいっぱいあったのすごいと思いました。二つ目は、山仕事でつかひのきびがかわります。三つ目は、

したが皆熱心に学習をしていてくれました。

【ぼくは石が好き】

片桐晟也

三つ目は石です。ぼくは石が好きで、よく道に落ちている石をひろいます。それで、理科の先生に見てもらうと、「火山の石だよ」とか、昔の生きものがかたまった石だよ」とか聞いてくれます。資料館で石を見るときも「すごい」とか「ぼくは石が好きです。また資料館に行くと石を見たいです。」

最也君は春休みになってから、お母さんと姉さんと弟の四人でもう一度見学に来てくれました。これからは石に対する興味を大切にしたいです。(資料館主任 岡庭易彦)



資料館に陳列されたさまざまな「石」

常に初心忘れずに

平成24年度公民館役職員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------|-------------|-------|--------|------------|----------|-------------|------------|-------|---------------|---------------|---------------|--------|--------|----------------|---------------|---------------|--------|-------|---------------|
| 【本部】 | 公民館長 唐澤 克己 | 社会教育係長 原 みほ子 | 公民館主事 辻元 慎二 | 図書館司書 久保田文香 | 【社会教育委員】 | 貝原 豪 筒井 恵子 | 森田 恵子 寺澤 愛子 | 原 国人 | 丸山 貢弘(中学校長) | 【公民館運営審議会委員】 | 寺沢 宜勝(一分館) | 北澤 政司(二分館) | 原 芳実(三分館) | 福澤 章(四分館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 堀本 明一(五分館) | 三島 立男(六分館) | 松尾 徹(七分館) | 丸山 貢弘(小中学校) | 木下 正樹(P.T.A) | 羽生三三子(J.A) | 川中島敏人(区長会) | 井口 公男(商工会) | 大塚きしみ(女団連) | 林 清光(勤労協) | 【編集委員】 | 壬生 雅穂 鹿角 勝二 | 久保田和博 丸山 恒夫 | 吉川 士郎 吉田 裕 | 木下 美貴 久保田ゆり子 | 日下部富次 正木 淳子 | 下畑麻由未 | 【図書司書】 | 原 明美 石川 正義 | 【体育指導委員】 | 酒井 浩文 吉田みき子 | 鹿角 瞳 吉川 康子 | 【分館長】 | 1 武田 徹 2 今村 篤 | 3 菅沼 忠 4 吉川正規 | 5 福島昭治 6 唐澤 伸 | 7 壬生 保 | 【分館主事】 | 1 代田 正 2 宇佐美錦一 | 3 北林智明 4 片桐憲幸 | 5 武田伸洋 6 小石峯保 | 7 高田明臣 | 【社会部】 | 1 筒井隆彦 2 福澤昌克 |

論議が具体化

社会教育施設建設委員会

三月六日に各種団体や公民館グループの代表者を集め、第一回会議を開催した社会教育施設建設委員会では、三月二十七日に第二回目の会議を行いました。

第一回会議では、役場の庁内検討委員会で審議してきた内容が提示され、主としてそれを理解するという段階でしたが、第二回会議では、それぞれの立場から意見や要望を述べ、必要があればその内容に修正を加えるという段階まで進展しました。折角造るのだからできる限り使い勝手の良い立派な施設をとの考えと、限られた資金の中では建設費はもろろのこと、将来の維持費にも配慮することが肝要との思わくが交錯し、建設委員や事務局の方々は難しい立場に立たされていくと推察いたしました。まだまだ原案を作成する前の、たたき台である案を検討している段階であり、今後地道な論議の積み重ねが

必要です。第三回会議は四月十九日に予定されており、検討の進展が期待されます。いずれにしても五月末を目途に検討結果が村長に報告され、その経過はまとめて村民の方々に提示される見通しになっており、二十五年に正式設計、二十五年に着工完成の予定です。(公民館事務局 唐澤)



それぞれの立場から意見が出される

ハワイの「ウクレレ」教室

ウクレレクラブ発足

ぜひご参加を

クラブ代表 小杉山 勝彦

ウクレレは癒しの楽器で、小さくて何処へでも持って行けるし、安価で簡単に弾く事が出来ます。皆様の中にウクレレを買ったけれどもあまり弾かずに仕舞い込んで有るとか、きちんと弾きたいと言う方が居られます。是非お気軽に参加し



南国のムードが漂う見事な演奏

よいから触る事、一週間に一度教室に通う事が大切かと思えます。「焦らず」「弛まず」「怠らず」の精神で、ゆっくりと一歩でも半歩でも前進めば、先々は公民館活動への参加、発表会等の場にも出られるのではないかと期待しております。一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。

~シリーズ~ 豊丘の自然 No.102

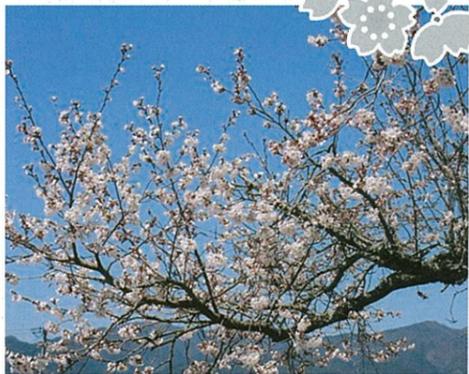
ソウシチョウ (チメドリ科)



十二年前の平成十二年二月、天龍村で、この鳥をはじめ見て見た。その時のメモには、絵入りで「チョウセンメジロか」とある。その後、ソウシチョウと分かった。

豊丘村ではまだ確認してないが、まちがいはなく確認できるであろうし、皆さんの協力もお願いしたいと思おもあつて、ここに紹介する。今までに天龍村、大鹿村、旧浪合村、平谷村、阿南町、喬木村で確認している。

やっと咲きました! 旧役場跡地の桜の古木



やや遅れましたが、桜花咲き誇る春です

- 転出・退職
◇南小学校
大原 文男 定年退職
大平 郁子 定年退職
金田 義雄 浜井場小へ
小畑 彩 退職
桐生 慶子 上郷小へ
五味 活朗 松尾小へ
志水 秀俊 諏訪中(諏訪市)へ
村澤 健博 新野小へ
◇北小学校
勝野 恒彦 本郷小(松本市)へ
北沢 尚子 座光寺小へ
甲藤 美穂 武石小(上田市)へ
市瀬 彩 吉田小(塩尻市)へ
◇中学校
原田 良介 綿内小(長野市)へ
川上 哲夫 阿智中へ
松浦 伸子 下條中へ
塩澤 俊治 阿智中へ
庄村美和子 篠ノ井西中(長野市)へ



この出会い、実り多かれ一豊丘中の先生紹介

- 転入
◇南小学校
塩澤 孝雄 中川東小(中川村)より
小川曾俊彦 阿智第三小より
田島 明美 伊賀良小より
飯島 信子 大下条小より
吉沢 美紀 遠山中より
◇中学校
丸山 貢弘 下諏訪向陽高(下諏訪町)より
唐澤 謙 高山中(高山村)より
松村 奈月 下條中より
名取はるな 湯谷小(長野市)より
山本 龍孔 新規採用
岩崎 元気 鼎中より

先生方との別れと出会い 学校教職員の異動

- 小林 翠 軽井沢中部小(軽井沢町)より
◇北小学校
松澤 郷子 浪合小より
小池 道博 三穂小より
中村 伸哉 座光寺小より
中村 友紀 木祖小(木祖村)より

Table with 4 columns: 回 (No.), 月日 (Date), 内容 (Content), 講師 (Instructor). It lists various events and speakers from May to March.

ぜひ大勢ご参加を! 平成24年度公民館学習会
公民館では、平成二十四年度の学習会を、左記のように実施いたします。申し込み等詳細は、全戸配布のチラシをご覧ください。楽しく学び、人生の活性化に役立ててみませんか。



柳 (豊丘川柳クラブ豊柳会)
▼課題「根」互選
ああ無情根こそぎさらう大津波 宇井恵美子
根つからの悪意ないのに損な人泉 久子
逆境と貧苦に耐えた土根性 福沢 勝美
大根足大地しつかり踏みしめる原 美風
農業の根幹ゆらすTPP 林 桃子
▼課題「説」互選
おらが村多勢子伝説世に咲かず 今村 礼風
社説よりお悔み欄はきつと見る 久保ひろし
説きふせた相手に逆に口説かれる 西元 峯子
小説をしのぐ波乱を生きた人 桃沢 健介
▼自由吟 桃沢健介 選
放射能見えぬ力で通せんぼ 吉川 療
剪定枝ほのぼの燃えて湯冷めせず 市沢 照子
ウインドに写る姿に年が見え 安田 喜子
長寿県痛いだるいで日本一 宮島 昭三
表面はガチンコ裏でヒソヒソと 宮下 小町
軸吟:復興を遅らす政治液状化

俳句 短歌

病院の予約日春の衣更え
立春を射ぬく競射の茶髪かな
姐の水の乾きに春隣
柿剪定風の奥より人の声
雨水過ぎ土手に見つけた蔭の蓋
穏やかな嶺の構えや四温晴
門川のさざなみ春を奏でをり
雨を得て鉄の音に春を聞く
福寿草日本最古の道祖神
廃校へ献花の様に沈丁花
(公民館短歌会)
天龍の流れに添って列をなし樂しげに泳ぐ鴨鳥の群れ
中島 一彦
利き腕をかばって左手使うけど見ていられぬと右手が笑う
北澤 秀子
手を振りて大地を確と踏みしめて曾孫の一步弥生月へと
毛涯百合子
暮れなすむ竹富島の棧橋に人ら寄りそい夕陽を浴びる
大倉 知江
春はまず黄色の花が咲くという福寿草からつぎは水仙
壬生 千春
すれ違ふひとの一瞥若き日の既視感生まれ空足ふみぬ
富永 博通

八日念

夫は云うお前と二人で一人前と答えし後に笑いの声が
關を裂く消防車村を巡りゆく家屋の火災頻繁のなか
松島 八重
カタカナの流行る言葉の画像みつふたたび開けば笑われて
紅 梅
雪の土に囲まれ耐え来し太太根『おでん』となれば出番の時ぞ
河原 梨花